

Epistula

epistula,ae. f. 手紙, 文書〔ラテン語〕
(研究社『羅和辞典』より)

大分県立芸術文化短期大学

エピストラ

2009
7月9日
vol.16

2010年度 学生募集ポスターが決定しました！

恒例になった全学生対象の学生募集ポスター公募は、美術科デザイン専攻生、専攻科生の44名から47点の応募がありました。その中から最優秀賞を含む7点を本学の教職員が審査して選拔し、表彰式を6月11日(木)に行いました。最優秀賞に輝き、採用された学生のコメントは3ページです。また、本学ホームページにも画像&コメントを掲載していますので、そちらも覗いてみてください。

●本学HPアドレスは4ページ



前列左から／稲葉りえ、中山学長、原恵里奈、渡邊真弓
後列左から／二宮孝太、木原由香理、中田有香、中村夏子



「学長プロジェクト」始動

「空飛ぶ学長」中山欽吾プロデュース「学長プロジェクト」、いよいよ始動します。この「学長プロジェクト」は、「文化の資産化」をテーマとして、各界の著名な先輩が、後に続く文化の担い手となる若者に語りかける企画を、中山欽吾学長自らがプロデュースするものです。第1回は、6月23日の情報コミュニケーション学科講義「地域社会特講Ⅰ」に、劇団わらび座代表・是永幹夫氏(大分県出身)をお招きして、地域に根ざした劇団の活動と意義、演劇にける熱い思いについて語っていただきました。



キャンドルナイト 今年も開催

一年で最も夜の短いこの時期、ロウソクの光の下で自然や環境問題について考える、恒例の「キャンドルナイト」。今年は6月23日午後6時から開催しました。ピザの販売や茶道部のお茶席も出て、キャンドルゆらめく神秘的な雰囲気の中、手話サークルやダンスサークル、太鼓部など学生の元気なパフォーマンス、教員のギター弾き語り対決など、盛りだくさんの内容でした。



県議会常任委員会 本学を視察・調査

県議会の福祉保健生活環境委員会(竹中万寿夫委員長)の委員一行が、5月19日、事務調査のため本学を訪れ、教育、研究、社会貢献などの現状や今後の課題等について説明をうけ、CALL教室などを視察しました。委員からは「芸術文化短大への志願者が増えている。巡回演奏会や地域イベントの企画などの地域貢献が認められ、さらには就職や編入学など、大学の努力の結果が表れている」との高い評価を受けました。



グッドマーカー准教授の英語コミュニケーションを視察

NHK交響楽団団員によるファゴット特別レッスン開催

大分県知事の立会いのもと、大分県文化スポーツ振興財団と本学の提携により結成された「iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ」。その講師としてNHK交響楽団の団員が指導のため来県。この機会に、当楽団のファゴット奏者、佐藤由起氏による公開レッスンが6月27日本学音楽棟小ホールで行われました。音楽科管弦打分野(ファゴット専攻)2年生3名が受講し、第一線で活躍するプロの厳しさを肌で感じ取っていました。





1 県警察本部の警察官募集ポスター作成協力します

本学と大分県警察本部との共同事業により、警察官募集ポスターを本学学生が作成することになりました。9月下旬までにポスターの原画を提出、審査会を経て、今年末に採用作品・優秀作品が決定されます。2010年1月から県内に約1000枚が貼られる予定です。

芸術棟ギャラリー information

- 7/6 ▶ 7/17 野崎静香展
 - 7/18 ▶ 7/29 卒業修了買上展
 - 7/27 ▶ 8/7 山田友里香・工藤千佳展
- 詳しくは本学HPにて

2 芸短音楽科コンサートシリーズ開催しました

「大学評価・学位授与機構」に認定された本学専攻科で2年間学び、前述の学位授与機構において学修成果の申請を行い試験に合格することで、4年制大学卒業と同等の学士号を取得することができます。

昨年度、本学初の学士号取得者がでました。本年度もこうした成果を上げるために、本学専攻科音楽専攻の2年生は、iichiko音の泉ホールにおいて6月3日、24日の二夜に渡り「芸短音楽科コンサートシリーズ」公開研究発表で、各演奏の公開録画を行いました。多くの学士号取得者がでてほしいと思います。



3 盛り上がりました！アメリカン・カルチャー・フェスティバル

5月24日、本学体育館で、「アメリカン・カルチャー・フェスティバル」を開催しました。国際文化学科グッドマーカーク准教授と野坂昭雄准教授、そして有志学生スタッフを中心に運営されたこのイベントは、ブルグラスやカントリーダンス、フォークソングの紹介や実演、参加型ワークショップを通じて、旧き良きアメリカ文化に親しもうという企画です。来場者は100人を越え、ハンバーガーやアイスクリーム、ポップコーンの屋台も出店し、アメリカを堪能する一日となりました。



4 第78回あしなが学生募金100名以上が参加

遺児や障がい児などで親が働けない子供たちの就学を支援するあしなが育英会主催の街頭募金活動が4月後半の週末の4日間、大分市と別府市で行われ、例年通り今年も本学からボランティアが参加、過去最高の募金額を集めました。「現代と人権」「地域社会特講II」等の講義で意識を高めた上での実践。初めての募金に戸惑った学生も、多くの善意に直に触れ合う事で地域の果たす役割について、座学以上のことを学ぶことができたと思います。



学長コラム

中山 欽吾

<テーマ> 左脳と右脳



似顔絵／石丸裕美

最近「脳科学者」という肩書きの人がテレビに登場して、人間の色々な行動を脳の科学という切り口で説明しています。本も色々出ているようです。近年脳の機能についての研究が飛躍的に進んで、左脳が数字や文字、論理的な思考を司り、右脳が人間の喜怒哀楽の感情、芸術的な感性などを司ることなど、誰でも知っているようになったので、時流に乗っていることもあるのでしょう。インターネットで調べてみても色々な情報が出てきます。

そのネットで「あなたの右脳度、左脳度を診断します」というクイズがあったので試してみました。その診断結果は「素晴らしい！右脳と左脳がうまくかみ合っています。あなたが考えたことを誰にでも納得させる力があります。なぜなら、あなたは右脳で全体を捉えることが出来、しかもこれを誰にでも分かるように理論付けできるからです。まるで、あのアインシュタイン博士のようだ！」というものでした。他愛もない半分お遊びのクイズと分かっているけど、これほどおだてられると誰でもやはり嬉しくなるものですね。

クイズをやっている途中、随分悩みながら答えを出していましたが、私自身工学部を出ていて技術者として永年工場や研究所で仕事をしていたこともあるので元来左脳型ですが、10年以上音楽関係の仕事をしたり趣味は美術だったり、右脳を結構働かせているという自覚もあったので、この結果には結構満足しています。

芸短は、芸術系と人文系の専攻があって、同じキャンパスで学んでいます。一般共通科目ではクラスでも、またクラブ活動でも両方の学科の学生達が一緒に活動しています、ごく普通の日常会話に右脳型と左脳型の特長が出てくる可能性は大いにあると思います。どちらが優れているかなど全く考えずに、一人ひとりの性格や感覚や判断が様々に違っている友人同士が毎日接しているということは何と豊かな時間なのだろうと思います。最近の高校までの教育が、ともすれば成績の輪切りで進学先を決めるといった風潮がありますが、どっこい人間の価値はそんなことでは決まらないのだ！ということが、大学に入ってははっきりと分かってくることなのでしょう。

新任教員紹介

ゼミ生が語る、教師の素顔(一部編集)

国際文化学科 永田 道弘 講師

イケメン♡毒舌♡

真面目です。「○○について調べたい」と学生が言えば、すぐに一緒になって調べたり、図書館に行ったりもします。テニスが趣味です(キラッ)。スタイルバツグン☆でイケメン♡の容姿ですが、毒舌で腹黒(?)です(笑)。しかし一方、たまに抜けるところもあり、場を和ませ愉快地にしてください。ゼミの学生ともすっかり打ち解け、毎回とても楽しいです。



情報コミュニケーション学科 高橋 雅也 講師

おちゃめさん? 「なるほどね」

口ぐせは「なるほどね」。頭の回転が速く話題が豊富です。話すとき擬音が多いです(「ビャーっ」と)。祭り好きで、意外と熱血!! きちんと話を聞いてくれて、自分のことのように尽くしてくれます。研究室に引っ越した時のダンボールが積み重なっていますが、誰かが片付けてくれるのを期待しているらしいです…。そんな、わりとおちゃめさんな先生です。



学生募集ポスター 最優秀賞受賞者紹介

1面でお知らせした2010年度学生募集ポスターの学内公募に、最優秀賞を受賞した学生のコメントをご紹介します。



このポスターは、「卵」をモチーフにして制作しました。各学科のイメージをシルエットにして、それらが卵を形成しているように見えるように、たくさんの物を詰め込んでいます。

卵とは、成長過程の出発段階であると私は考えています。

その卵を使うことで、新しい大学生活の始まりの意味を込めました。また同時に、卵の未来を予感させるイメージから、この大学で経験を積んで大きく成長してほしいという願いも込めています。

このポスターを見て、少しでもこの大学に興味を持ってくれれば嬉しいです。

原 恵里奈(美術科デザイン専攻ビジュアルデザイン2年)

別府混浴温泉世界に参加して

4月11日～6月14日にかけて行われた別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」。本学でも、情報コミュニケーション学科や国際文化学科の講義で取り上げ、それに刺激されて多くの学生が参加しました。

左は、そんな学生の声です。



私は、今回「混浴温泉世界」というイベントに参加しました。

海外の作家さんの美術作品、国内の若手アーティストによる展示ダンスなど、「別府」というキーワードを元に創作されたものばかりでした。

その中で、海外の作家さんの展示の案内・紹介を、ボランティア・スタッフとしてお手伝いしました。地元や県外、様々なお客さまに来て頂きました。「別府」という場所だからこそ生まれた作品で、建物や周りの環境あったものばかりでした。来てくださった方々も、とても満足していたようでした。

私も、今回お手伝いさせて頂き、いろんな方々ともお話できて、本当に有意義な時間を過ごすことが出来ました。

植野 友梨恵(国際文化学科2年)



オーストラリア 留学記

オーストラリア語学研修を終えて

国際文化学科2年生
山口 日香理

Epistula15号で紹介した「スピーチ・コンテスト」で優勝し留学した国際文化学科の学生が、オーストラリアでの体験を語ってくれました。

私がこのオーストラリア語学研修を目指して、スピーチコンテストに応募した動機は、異文化交流において大きな役割を果たす英語を実際に英語圏で勉強し、活用してみたいと思ったことであつた。

2月15日、福岡国際空港からシンガポール経由でブリスベン空港に向かうといった長旅を終え、待ちに待った初の英語圏に到着。

空港で耳に入ってくる英語がとても新鮮で、これから始まる約6週間のオーストラリア滞在にわくわくした気持ちを抑えることができなかった。そして、ホストファミリーとの対面に期待と不安の入り混じった気持ちを抱きながら、ホームステイ先へと向かった。ホストファミリーはとても明るく気さくで、私の誕生日にはホストマザーがチョコレートたっぷりの誕生日ケーキを作ってくれた。また、休みの日には家族みんなでオーストラリアの最東端であるパイロンベイにも行き、オーストラリアの美しい自然を満喫することができた。平日はバスに乗って語学学校に通った。通学の際、私はバスの中で友達になったトニーと話をすることが日課となっていた。

語学学校でも、さまざまな国籍の友達ができ、語学学校で感じたことは、他国の学生は想像以上に自己主張がはっきりしているということであつた。例えば、授業でディスカッションをした際に、他国の学生はたとえ英語の文法や時制が適切でないにしろ、とにかく発言した。彼らは発言することに何もためらいなど持っていなかった。日本人は海外の学生のそういった面を見習う必要があると感じた。他にも、日本では学べないことをたくさん知ることができた。

この春休みは私の今までの人生において最も充実したものであり、宝物となった。この貴重な経験を活かすことができるかは、これから先の私の努力次第だと思う。今後、この経験が素晴らしいものであったと思えるように、これからも日々精進していきたい。



GEITAN INFORMATION 2009.7・9

ゲイタン★インフォメーション

◆夏だ!祭りだ!SAEMONだ!!

暑い夏。芸短のお祭り好きたちが星降る夜空にはじけます。
7月23日は恒例の「SAEMON23」が、鶴崎駅前歩行者天国で開催。企画段階から多数の学生が参加したこのイベント。当日は、総勢50名の「ゲイタン・ダンサーズ」が、鶴崎の町をゲイタン色に染め上げます。8月8日には大分「たなばたブロードウェイ」にも参加。若いパワーで暑さを吹き飛ばそう!!



◆本学HP、リニューアルしました

本学ホームページが、7月1日からリニューアルされました。
アドレスは <http://www.oita-pjc.ac.jp>
各学科のカラーを定め、よりよい見やすさを追求、美術科のギャラリーや動画コンテンツも用意しました。Epistulaでご紹介した様々なイベントの結果報告も順次アップロードされます。4学科に認定専攻科を加えたユニークな特徴を可能な限り伝えることを目的に、最新ニュースも掲載。是非一度はのぞいてみてください。



◆音楽科の夏は、地域巡回演奏会とともに

「生のクラシック音楽の素晴らしさを、小学生、中学生にも伝えたい。」そんな思いから、昭和61年以来、延べ44市町村で地域巡回演奏会を行ってきました。この取り組みは、平成16年には文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」にも採択されました。今夏は、9月17日竹田市文化会館、18日アスト国東で地域巡回演奏会を行います。夏の思い出になれば、と願いを込めて。



◆インターンシップへ行ってきます!

夏期休暇を利用して就業体験を積む「インターンシップ」。
今年も60以上の企業・団体のご協力を得て、実施の運びとなりました。初めての「現場」に戸惑う学生も多いと思いますが、「働く」ことの貴さ・喜びを肌で感じてください。



◆「石仏のハス」見頃です

臼杵といえば石仏が全国的に有名ですが、石仏のある小山のとなりに広がる「ハス畑」も隠れスポットです。毎年7月～8月が見頃です。美しく咲き乱れるハス、真夏の太陽の下、時は止まり、「涅槃」を実感できるかも。この時期限定のハス料理コースを出しているお店もあります(オススメ)。JR臼杵駅から出ているバスが便利です。



国際文化学科「大分の観光と文化」より

◆2009年は「日本・オーストリア交流年」

1869年に日本とオーストリア(当時はオーストリア・ハンガリー帝国)との間に国交が結ばれて140年。今年は「日本・オーストリア交流年」です。芸術と文化の国オーストリアと日本の交流を記念して、各地で様々なイベントが企画・実施されます。芸術文化短期大学でも何かあるかも・・・。



GEITAN CALENDAR

ゲイタン★カレンダー

7月 July/文月

3日[金] 七夕祭
19日[日] オープンキャンパス
20日[月] 海の日(祝)
22日[水] 皆既日食
23日[木] 補講日
SAEMON23(鶴崎駅前歩行者天国)
24日[金] 前期定期試験開始(～30日)
31日[金] 音楽科実技試験(～8月5日)

8月 August/葉月

5日[水] 夏期休業開始
7日[金] 立秋

TOPIC

日本では46年ぶりの「皆既日食」

7月22日、「皆既日食」が、種子島～奄美大島にかけての地域で観測されます。大分では、最も欠けたとき(10時59分頃)、三日月よりもはっきりした太陽の姿が見られます。今年最大の天体ショー、Don't miss it!!

9月 September/長月

17日[木] 地域巡回演奏会(竹田市)
18日[金] 地域巡回演奏会(国東市)
20日[日] オープンキャンパス
21日[月] 敬老の日(祝)
23日[水] 秋分の日(祝)
24日[木] 後期授業開始
履修登録(～30日)



次号のお知らせ



Epistula17「芸短祭・フェスタ」応援号は、2009年10月1日発行予定です